

PRESS KOGYO

製造の先の創造へ



つぎは何をつくらう。

 プレス工業株式会社

製造の先の創造へ。

私たちは製造する。
 クルマと機械に不可欠な部品を。
 私たちは創造する。
 より快適でより安全な
 移動と作業の新しいシーンを。
 私たちだからできる、
 その自信と誇りを胸に。
 製造の先の創造へ。
 私たちはプレス工業。

90年の歴史を持つ グローバル専門メーカー

プレス工業は1925年の創立時、東洋一と称された600tプレス機の国内導入を機に、独自のプレス加工技術を磨き続けてきました。また、1929年に国産第一号のトラックのフレームを製作して以来、日本の自動車産業をリードしてきました。現在では同社の技術を集結させた製品が、世界各地で人々の生活や物流を支え、幅広く活躍しています。2025年に迎える100周年に向けて、より技術力を高め、グローバルに展開していきます。

サステナビリティ経営 ～地球・社会とともに～

プレス工業ではSDGsとリンクしたESG重要課題の取り組みを推進しています。特に気候変動問題への対応は最優先課題と捉え、サプライチェーン全体で、CO2をはじめとする温室効果ガスの削減、省エネ対策等について高いレベルの目標を設定し、達成に向けた新たな施策（カーボンニュートラル推進委員会設置等）を講じています。



図で見る 企業DATA

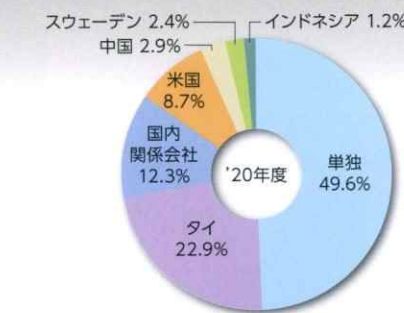
●売上高の推移(連結)



●工場の敷地面積



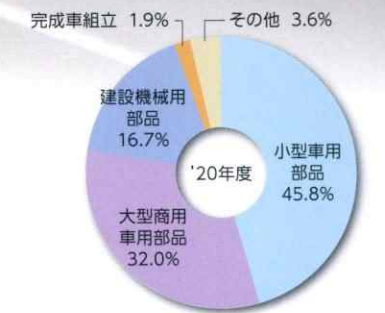
●地域別売上高構成比(連結)



●調達する鉄の量



●製品別売上高構成比(連結)



●トラックのフレーム生産台数(中・大型)



製品と技術力

プレス加工から始まった当社の技術は、
プレス加工の分野からさまざまな分野へと広がっています。
多様化する自動車産業にも対応した技術は、
世界中のメーカーの注目を集めています。

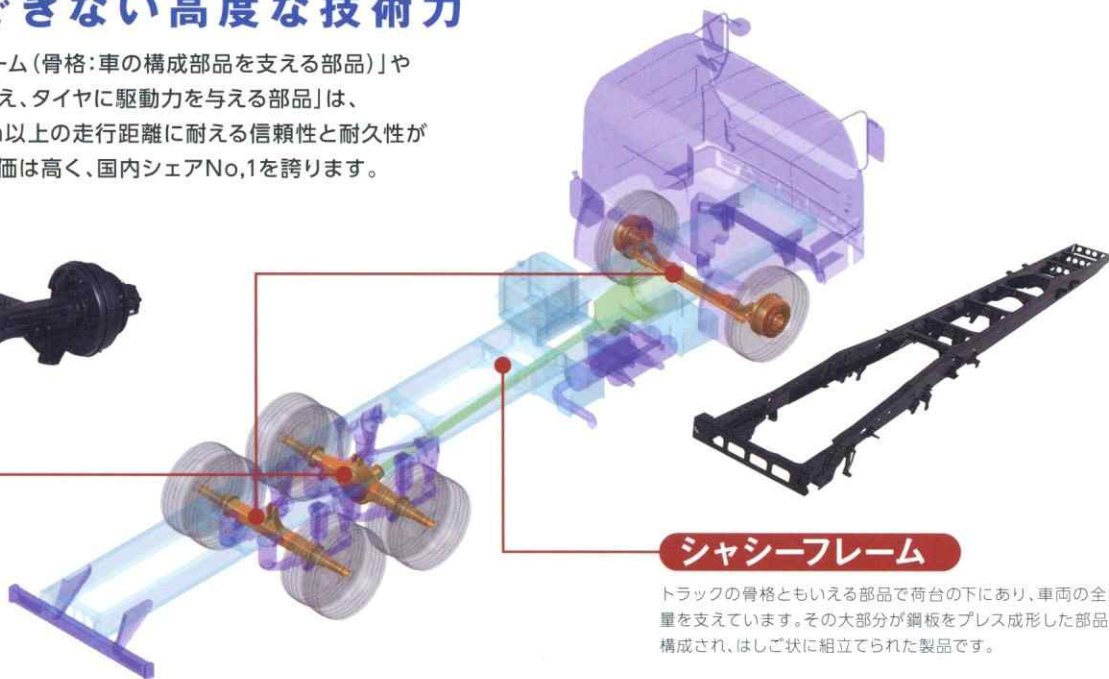
他社にはまねできない高度な技術力

主力製品であるトラックの「フレーム(骨格:車の構成部品を支える部品)」や「アクスル(車軸:車の全重量を支え、タイヤに駆動力を与える部品)」は、主要部品のため10年で100万Km以上の走行距離に耐える信頼性と耐久性が求められますが、当社製品への評価は高く、国内シェアNo.1を誇ります。



アクスル

アクスルとは自動車の走行装置のなかの車軸のことをいいます。
フロントアクスルは、車両重量を分担する役目と制動を取る役目を、リアアクスルは、車両重量を分担する役目と駆動力を車輪に伝達する役目を持っています。



シャシーフレーム

トラックの骨格ともいえる部品で荷台の下にあり、車両の全重量を支えています。その大部分が鋼板をプレス成形した部品で構成され、はしご状に組立てられた製品です。

製品を支える技術力

1 自動化ライン

信頼性向上、省人化を目的に、溶接・組立・検査・搬送の自動化を図っています。また、アクスルでは多品種生産への対応として、部品付けにおいて治具レス工法を採用しています。

2 差厚技術

製品の部位ごとに板厚差をつけて加工する技術のことで、鋼板の差厚加工から成形までを一貫生産し、軽量化及びコスト低減を実現した当社独自の加工法です。

3 異形鋼管技術

建設機械用キャabinは、建設現場での転倒等に備えて高い安全性が求められます。プレス工業では、異形鋼管を使用した隠れ目のない一体成形ピラーを開発し、建設機械用キャabinの、軽量、高強度、高信頼性を実現しました。

建設機械用キャabin



車両組立ての技術と特殊なプレス成形技術を駆使した部品(異形鋼管)を利用した建設機械のキャabin等の組立をしています。快適性・安全性・利便性の全てにおいて優れたキャabinとなっています。

快適性

安全性

利便性

地面の掘削時は前方向、ビルの解体や、林業の場合は、上方向の視界性が特に重要視されます。その為に、窓ガラスを大きくしたり、キャabinの柱を可能な範囲で細くするなどの対応をしています。

当社では、独自工法の部品である異形鋼管の使用により、デザイン性が高く、その上で強度も高いキャabinが実現可能となりました。

フロントの窓ガラス及び天窗は開けた状態のまま保持することができ、視認性、換気性、開放感も良好です。フロントウィンドウの開閉は、アシスト機能により、簡単に開閉可能です。

樹脂製品



樹脂製品はスタンパブルシートと呼ばれる熱可塑性樹脂(PP)にガラス繊維を配合した素材を用い、強度・剛性に優れています。その特性を活かし、エンジン遮音カバーを主体とした製品をトラックメーカー各社に納入するとともに、車両の軽量化を目的とした既存スチール製品の樹脂化提案なども行っています。

金型&自動化機器



プレス成型および溶接組立の技術を活かし、ユーザー(カーメーカーなど)のニーズに合わせた高性能・高品質の金型および自動化機器を提供しています。

その他自動車部品



アンチロックブレーキ(ABS)用センサーリングや、乗用車のパネルなど、精密プレス部品、機械加工部品を、確かな品質でお届けしています。

4 PFF工法技術

PFF工法は、1枚の鋼板を折紙のようにプレス加工で“折り畳む”事によって形状を造ります。従来は“外枠”と“内側の構造材”を別々に用意し、最後に溶接をすることで製品を造っていましたがこの工程を廃止でき、非常に生産性が良いのが特徴です。

5 精密プレス加工

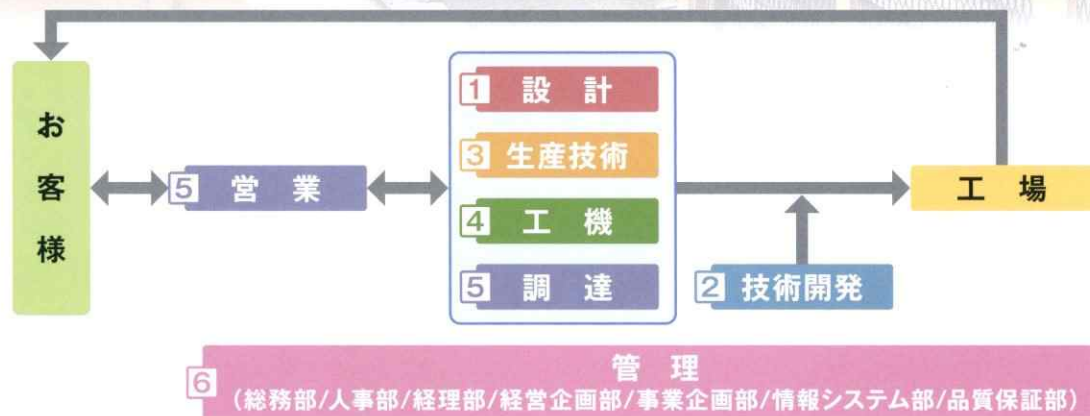
汎用プレス機にて加工可能な技術を確立し、高精度・軽量化・コスト低減を実現した当社独自の加工法です。機械加工を必要とせずプレス加工のみで加工できることが特徴です。

6 一貫体制による技術力

プレス工業では設計・開発から実験、解析、製造、検査まで一貫して行っています。これにより、各部門同士の風通しが良く、会社を挙げて技術力向上に努めています。

職種と人材育成

製品の市場化までの流れと職種



1 設計

新型車の企画段階からカーメーカーと一体となり、設計を行っています。お客様の要求を満たし、かつ量産可能な製品を設計するために、開発・設計～実験・評価までを独自で行い、最適な製品をお客様に提案しています。



2 技術開発

プレス加工はもちろんのこと、新素材、新工法、溶接、塗装と様々な研究開発を行い、製品の開発・生産性向上・量産化を技術的にサポートしています。海外での新規ライン立ち上げ等の技術支援も行っています。



3 生産技術

工場内生産技術(溶接・組立)サポート業務を担っています。新規部品の最適な生産工程を検討・設定し、生産性の向上、品質向上、コスト削減を目指す、生産プロセスにおいて重要な部署です。実際に現場に足を運んで、現物を見て、現実を知ることが大切な仕事です。



4 工機

生産ラインで使用される治工具(部品の組み立て時に使用する工具)や、プレス加工に使用する金型の設計～加工・仕上げまでも行う部署です。社内だけでなく、カーメーカーのラインで使用される治工具や金型を設計し、納入しています。



5 営業/調達

営業の仕事は価格の契約業務だけではなく、新規プロジェクトの立ち上げをサポートするため、お客様と社内の技術・開発部門を結ぶパイプ役も担います。調達は当社の生産に必要な諸資材や部品・製品を取引先より調達します。国内外の関係会社に対し、資材・設備の調達に関する指導・支援も行います。



6 管理 (総務部/人事部/経理部/経営企画部/事業企画部)

総務 ... 法務・広報・IR活動などの総合管理業務を行います。
 人事 ... 採用・教育などの人事管理に関する施策・制度の運営を行います。
 経理 ... 財務管理・原価管理・資金管理・資金調達などを行います。
 経営企画 ... 経営戦略・計画の策定、経営課題の解決などを行います。
 事業企画 ... 国内外関係会社の事業戦略立案、プロジェクトの考案、経営分析などを行います。

情報システム部 ... 情報システムの企画・構築・運営やシステムインフラの整備を行います。

プレス工業の研修制度

新入社員研修は、導入教育、製造実習、職場実習の3つのカリキュラムで実施しております。

4月 導入研修

約50の講義を通し、企業人としての基本的な技能やマナー、当社の概要などを学習します。例えば、各部門の紹介、就業規則・制度、財務諸表の読み方、製品知識、技術・工法・・・など、様々な分野から当社についての理解を深めていきます。

5月6月 製造実習

製造部門で、ものづくりを体験する実習です。ものづくりの原点を学ぶとともに、製造現場の社員との友好を深める機会にもなります。

7月8月9月10月 職場実習

文系・理系に分かれ、各職場にて職場実習を行います。文系は1カ月ずつ4職場、理系は2カ月ずつ2職場にて実習を行います。この実習で実務を経験することにより、仕事内容を理解し、自らの適性を見つめ直すタイミングにもなります。上記実習を通して、正式な配属先を決定します。

11月 配属

社内イベントについて

コア商品世界No.1を目指す会社であり仕事に対する意識が高いメンバーである一方で、各種イベントや部活動も活発であり、仕事以外の面でもアットホームで風通しが良いのも特徴です。



▲8月に行われる納涼祭での風景

◀陸上部はニューイヤー駅伝に出場し力走

プレス工業の教育制度

■教育目標

部長	... 部門マネジメント、経営サポートを全体最適の視点から遂行する
課長	... 課内マネジメント、部下育成を推進し、職場パフォーマンスを向上させる
主査	... 担当業務の高い知識を生かし、部門長・所属長の補佐をする、エキスパートを育成する
主任	... 課内の課題を発見し、部下とともに解決していく
中堅社員 (5年目～10年目)	... ●担当業務の課題発見と解決ができる ●専門性を追求する ●後輩の指導
若手社員 (2年目～5年目)	... ●担当業務に習熟する ●担当業務の課題発見ができる ●後輩の指導ができる
新入社員	... ●自律的な仕事の仕方を身につける ●当社で働く上で必要となる知識を吸収していく

■教育カリキュラム

区分	階層別教育	職能別教育	目的別教育	自己啓発	
階層	目的	マインドセット・役割認識	プレス工業専門知識の取得	海外人材育成	スキル習得・知識取得
部長	財務管理研修				
課長	新任課長研修				
主査	新任主査研修				
主任	PPW現場管理実践講座 新任主任研修		海外勤務ローテーション		
中堅社員 (5年目～10年目)	中堅社員研修	課内OJT			
若手社員 (2年目～5年目)	若手社員研修				
新入社員	フォローアップ研修 職場実習・原価実習 製造実習 新入社員基礎教育講座				

生産工学部機械工学科卒

2012年入社

運転者目線でお客様の求めるデザイン・仕様・目標コストと生産性の両立を追求するのが、建機キャビン設計の面白さ。

理工学部物質科学科卒 大学院修了

2019年入社

最適な仕様を探し求めていく難しさ、そして面白さがあります。

工学部機械システム工学科卒

2019年入社

若手社員の内から責任ある仕事を任される社風が魅力です。

自分のアイデアや工夫を製品に活かす

私の所属する部署のお客様は、東日本の建設機械メーカーです。いま、私は建機のキャビン(運転室)新規アイテムの設計開発や量産アイテムのフォローを担当しています。キャビンの構成部品は本体・外装部品・内装部品・電装部品・機構部品などアイテム数が多いので、数名のチーム編成で役割分担しながら仕事を進めます。お客様が求めるデザイン・仕様・目標コストを実現するためには社内の各部門と検討・調整を重ねながら、効率的に量産が可能な構造を構築しなければなりません。法規・規格・信頼性・耐久性・品質を満足し、さらに粉塵の侵入を防ぎたいとか、視界を広くなど、お客様の要望はさまざまです。しかし、作り難い仕様のまま量産すれば、生産効率の低下や品質を損なう恐れがあります。目標コストや目標品質といった条件をクリアした上で、お客様に満足していただける製品を設計するのが、私たち設計担当の腕の見せ所といえるでしょう。お客様に提案するキャビンの中に、自分のアイデアや工夫を盛り込んで、採用されて製品になった時に感じる喜びと達成感が、この仕事のやりがいです。

生産工程の上流に位置する責任と緊張感

建機のキャビンは尾道工場で生産しているため、配属から4年間を尾道で過ごしました。その後、2016年にフレーム・アクスルを担当する設計部門に異動し、大型トラックのフレーム設計を半年間手がけた後、藤沢工場に現在の部署が新設されたのを機に、異動して再びキャビンの設計担当になりました。自動車やバイクが大好きだったことからプレス工業を志望した私は、入社するまで建機事業部があることを知りませんでした。確かに主力製品であるフレームやアクスルに比べると、あまり目立たない製品かもしれませんが、でも、実際に設計に携わってみると、建機キャビンの構成部品はアイテム数が多いため、他の製品とは異なる楽しさがあります。設計は生産工程の上流に位置するため、自分のミスやスケジュール

ルの遅延でお客様や後工程の製造に迷惑をかけないように、緊張感と責任をもって日々の業務に取り組んでいます。

チームリーダーとしてのスキルを学びたい

キャビン設計の際に心がけているのは、建機のエンドユーザーである運転者の目線を忘れないことです。アームの先に装着されているアタッチメント(作業具)がよく見えるようにするなど、視界性・操作性を高めるために、使いやすい配置やデザインを意識しています。建機のキャビンを構成する部品の数はとても多いため、今まで私が設計を担当してきたのはその一部に過ぎません。もっと経験を積んで、キャビン設計のチームリーダーとして全体を統括する立場から、お客様の要望に応じて、最適な製品の設計を実現することが将来の目標です。そのためには、設計の知識や技術だけでなく、チームのメンバーを目標に向けてリードしていく力を身に付けなければなりません。リーダーシップに長けた上司や先輩のスキルを学び取って、30代のうちに目標を達成したいと考えています。

HOLIDAY 休日の過ごし方

週末の定番は娘と公園へ行って遊ぶことです。沖縄が好きなので、年に数回家族で旅行します。GWや年末年始にまとまった休みがありますし、有給も取りやすいのでワークライフバランスはとてもいいですね。もう少し子どもが大きくなったら、海外にも行きたいと考えています。



顧客や社内各部門と折衝・調整

私はトラックの次期車向けフレームの設計業務を担当しています。顧客のトラックメーカーからの要望と社内の生産技術部門や営業部門からの要望を取りまとめ、最終的に適度な強度、剛性を持ち、軽量で生産性の高い仕様を検討し、顧客ニーズに応えていきます。より良い仕様を検討していく過程では、多くの関係者との折衝をくり返し調整を図っていきますが、この段階で正解は一つではなく、適当な仕様を探して最適な「解」を求めていく難しさがあります。しかし同時に、それが面白さでもあります。

仕様が少しずつ形になっていく感動

自分の知識を活かし、「もの」の形状を考える仕事に就きたいと思いプレス工業を志望しました。入社を決め手になったのは、長い歴史と大手トラックメーカーとの取引実績を持った安定感ある会社という印象が強かったからです。現在、設計をしているのは、自分が提案した仕様が少しずつ形になっていく感動があり、量産化されて完成車に搭載された時を考えると楽しみでワクワクします。将来は、自分が担当した製品に関して知らない知識はないと言えるプロフェッショナルを目指しています。

HOLIDAY 休日の過ごし方

インドア派で、休日は自宅アニメや音楽動画を見て過ごしています。大学時代にベースを弾いていたので、作曲にトライしようとも考えています。また最近は、ペットショップで一目惚れして飼いだめた猫に癒されています。



溶接・自動化の新技术を評価

私の所属する部署は、当社コア製品のアクスルやフレームの製造工程における新工法の開発、新技術の導入と評価、量産化の立ち上げ支援などを行う部署です。私は試作品の溶接条件の検討、溶接の新技術の評価、量産化を目的に国内外の工場に導入している自動化の新技術の適用評価を担当しています。プレス工業には失敗を恐れずに積極的にチャレンジできる社風があり、若手社員の内から責任ある仕事を任されて、自分で考えて取り組んだ結果、うまくまとめられた時には達成感を得ることができます。

信頼される人材になることが目標

もともと自動車が好きで、自動車部品関係の仕事に就きたいと思っていました。プレス工業は地元企業として子どもの頃から馴染みがあって、世界にも通用する技術力を持った独立系企業ということで入社を決めました。今後は、溶接や自動化などの新技術・新工法開発の知識や経験を活かして海外事業にチャレンジするなど、仕事の領域を広げて技術者としてキャリアアップしていきたいです。そして、「この仕事はR.HIに聞けばわかる」と、周囲から信頼される人材になることが目標です。

HOLIDAY 休日の過ごし方

学生時代は野球同好会でキャプテンとしてチームをまとめて大会で優勝した経験もあり、社会人になった今も休日は所属する草野球チームの大会に出場したり、プロ野球観戦を楽しんでいます。最近では新たにゴルフを始めました。





理工学部機械工学科卒

2016年入社

当社コア製品の生産技術に携わり、ものづくりのやりがいを実感。



法学部法律学科卒

2019年入社

社内のITインフラをもっと便利に使いやすくしていきたい。



工学部動力機械工学科卒

2015年入社

技術者として製造ラインの生産性向上を実現した成果が、暮らしを支える物流インフラへの貢献に繋がる喜び。

多くの部署と連携して業務を遂行

私は当社コア製品であるアクスルやフレームの生産工法検討から海外で量産を行うまでの一連の生産ライン立上げ業務に携わっています。製品形状を決める設計部、設備をつくる工機部署、コスト・納期を管理する営業部、さらに協力メーカーや海外現地スタッフと連携して業務を進めていく中でまとめ役を務めています。各部署の相反する意見を調整するのは大変ですが、自分が考えた工法で最終的に生産ラインと製品ができた時はものづくりの楽しさとやりがいを実感します。

海外拠点を担当し現地出張も経験

今までにスウェーデン・アメリカ・タイの海外拠点を担当し、現地へ出張も経験しました。メール・対話ができる語学力を身に付けることができ、Excelによるデータ分析力も向上しました。今後もさまざまな視点を養い、経験を積み重ねて生産技術者としてさらに成長を目指していきたいです。また、社会人としてしっかり会社に勤めつつ、学生時代から続けている射撃競技の日本代表として世界大会に出場する夢があります。仕事とスポーツを両立できる社会人の理想像を追い求めて頑張っています。

ITで業務の効率化と改善を図る

入社前はシステム関係の部署を志望していませんでした。しかし、研修でシステム改善業務を体験して生産性を高められる仕事に興味を持ち、希望が叶って情報システム部に配属となりました。私は社内ITインフラのリソース・ID管理者として、各種システムの導入、ITインフラ環境の構築・サポート、セキュリティ管理を担当しています。社内のIT環境をより便利で効率的に運用できるように、各部署の利用ユーザーから寄せられるお問い合わせや要望に真摯に向き合い、正確にヒアリングして改善を図っています。

わかりやすい説明を心がけて

ペーパーレス化を目的に電子印システムを全社に導入した時は、説明会を開いて社長をはじめ役員の方々に詳しく説明する役割を担い、緊張しましたが「わかりやすかった」と評価していただきました。利用する人にとってわかりやすく説明することを普段から心がけていて、手ごたえを感じた出来事でした。ITは最新の技術動向が目まぐるしく変化するので常に情報収集に努め、時代に合った最適なIT環境を構築し、さらに同じ業界の中でも最先端のIT環境を整えていくことを目指しています。

生産技術は製造現場の司令塔

私が担当する生産技術は、製品を安全・正確・ローコストに作るための方法を検討・計画する部署です。たとえば、お客様が自動車をモデルチェンジした時に、当社で部品を製造できるかどうかを検証することから生産技術の仕事が始まります。生産するために、どのような設備が必要なのか？作業者の安全をどう確保するのか？生産にかかる時間を短縮するには？製品の品質を確保するには？といった課題をクリアするための計画をする部署です。簡単に言えば、生産管理や品質管理・製造部門の担当者や連携しながら、製品の量産に向けての舵取りを行う部署です。いま担当しているトラックフレームは、多品種少量生産品なので、数千種類ものバリエーションがあります。毎日のように製造する製品が変わるため、生産するための準備が非常に重要となります。万一、製品仕様を間違えたとお客様に不良品を納品してしまう恐れがあるので、ミス等が起きないように慎重に取り組んでいます。責任は重大ですが、任されている業務範囲が広いことには、やりがいを感じています。先日フレームの組立作業に使うロボットの作業プログラムを修正し、製造ラインのスピードアップに貢献できました。数秒間の短縮でも、その積み重ねは大きな効率化に繋がります。自分で考えたアイデアや工夫が、どれだけ生産性を向上させるかが明確にわかるのが、この仕事の面白さです。

物流を支えるトラックの魅力

就活の時にプレス工業を志望したのは、車が好きで自動車業界へ就職したいと考えていたからです。自動車メーカーに部品を供給している会社はたくさんありますが、専門特化しているところだと扱う製品が限定されてしまいます。当社はトラックのフレームやアクスルをはじめとする部品から樹脂部品、建機など、さまざまな製品を製造しているうちに、設計から営業まで職種も幅広いことが魅力でした。営業

先は国内外の大手自動車メーカーなので、常に自動車業界の最前線で働くことができます。何よりも、トラックは物流というインフラを支える、私たちの暮らしに欠かせない車両です。自分が担当するラインで製造したフレームが使われているトラックを街中で見かけると、日々の仕事が社会に貢献していることを実感して、プレス工業を選んで本当によかったと思います。

生産技術のプロを目指して

入社して最初の仕事は、新規で受注した米国のお客様に輸出する製品の量産立ち上げでした。新規金型の製作では曲げた金属が元に戻ろうとするスプリングバック(弾性回復)に悩まされながら先輩や上司のサポートを受け、製品の量産に間に合ったうれしさは、今でも忘れられません。この初仕事を通じて、技術者の仕事の面白さを味わい、自信を身に付けることができました。いま、設備を熟知したベテランの技術者が定年退職等で減っているため、加工技術やロボット・設備といった幅広い知識を持つ技術者になりたいと考えています。この工場のことなら、H.Gに聞けばわかるといわれるようなプロフェッショナルを目指して頑張ります。

HOLIDAY 休日の過ごし方

休日は基本的に射撃場で練習し、シーズン中は月2回程度試合に出場しています。高校1年生の時に魅せられた射撃に今も夢中です。シーズンオフはサイクリング、ボルダリング、クロスカントリースキーなどを楽しんでいます。



HOLIDAY 休日の過ごし方

バイクが趣味で、コロナ前は友人とツーリングで福島県や長野県の方へ出かけていました。学生時代はバンドを組んでベースを担当していたので音楽も趣味で、現在は自宅でジャズを聞いたり、SF映画を観てゆっくり過ごしています。



HOLIDAY 休日の過ごし方

休みの日は自動車いじりをすることが多く、海外から部品を取り寄せて、愛車のカスタマイズを楽しんでいます。写真や自動車など、趣味は多彩なので夜景を撮影に行ったり、ロードレースに参加したりと、忙しい週末を過ごしています。



基礎工学研究科電子応用工学専攻卒

2013年入社

言葉や文化の壁を超えて成し遂げた仕事が
技術者としての成長と喜びを与えてくれる。

生産ライン立ち上げの責任とやりがい

私が担当しているのは、生産ライン設備の制御設計です。当社の主力部品である商用車のフレームやアクスルを量産するために、設備を自動で動かすための制御設計を行っています。

仕事の流れとしては、まず、お客様から生産台数や詳細仕様を受領します。その仕様に基づいた設備を検討して見積書を提出し、お客様の承諾を得て設計に着手します。ハードとソフトの両方を設計し、組み上げたラインを現場で立ち上げて、正常に稼働するのを確認するまでが私の担当業務です。

ラインが予定通りに動かないと、生産計画に支障をきたすため、立ち上げの時にはかなりプレッシャーを感じます。もし、何か不具合が起こったら、できるだけ早く問題を解決しなければなりません。新人の頃は何が原因かわからずに右往左往するだけでしたが、経験を積むうちに少しずつ見当がつくようになってきました。まだ先輩たちにはかないませんが、着実に自分の成長を実感しています。

現地の問題解決をサポート

2016年にタイの工場ではフレームの生産設備立ち上げ業務を担当して以来、1年の半分をタイで過ごしています。ラインを立ち上げて正常に稼働した後も、3カ月ほどは問題が起きたらすぐに対応できるようにサポートしなければなりません。現場から依頼される細かい調整や改造に応える必要があります。一度行くと1週間から1カ月ほど滞在して、さまざまな案件に取り組んでいます。

入社する前から当社がグローバル展開しているのを知っていたので、いつかは海外での仕事を体験してみたいと思っていましたが、3年目で実現したのは驚きでした。現地のスタッフには英語が通じますが、ラインの現場担当者とのコミュニケーションはタイ語になるので、最初のうちは言葉の壁に苦労しました。タイ語はなかなか上達

しませんが、英語の筆談で意志の疎通をはかるなど、工夫しています。タイの人たちは私たちよりもダイレクトに感情を表現しますし、言葉や文化を超えて協力した末に、ラインの立ち上げが成功した時の喜びや達成感は、日本では味わえないかもしれません。

夢は世界ナンバーワンの製品を作る全自動ライン

メーカーが生産ラインを立ち上げる際には、外部の業者に委託するのが一般的です。当社のように工機部門があって、自社で生産ラインを作ることのできるメーカーは珍しいと思います。ラインの改良や改造を社内で完結できるのは、生産性を上げる上で大きなメリットです。当社グループだけでなく、外部の会社にも提供できるのは、当社の技術力の高さを物語っています。お客様からの要求仕様に応えるだけでなく、ラインの稼働状況を「見える化」してモニターに表示するなど、プラスアルファの付加価値を提案できるように心がけています。

これからもっと経験を積んでいく中で、いつかは人手を要しない全自動ラインの設計と立ち上げを手がけたいと考えています。そのラインから生まれる製品で世界ナンバーワンを実現するのが、技術者としての夢です。

HOLIDAY
休日の過ごし方

高校のサッカー部で一緒だった同級生とフットサルチームを結成しているので、週末は大会に出場して体を動かすことでリフレッシュしています。フットサル以外は、好きなミステリー書籍を読んだり、映画を観たりして過ごしています。



人文学部日本近現代史専攻卒

2011年入社

大切なのは、当社と部品メーカーの双方が利益を
確保できる、理想的な取引関係を築くこと。

文系の私を惹きつけたものづくりの魅力

文系出身の私がプレス工業を志望した理由は、ものづくりに興味があったからです。就活では商社や金融も何社か回りましたが、自分の仕事が見えにくいという印象を受けました。その点、プレス工業の製品は道路を走るトラックに使われているので、社会のどんなところで役に立っているのが明確です。私が大学で専攻した近現代は、まさしく産業が発達して社会を変革してきた歴史でもあります。私は社会貢献的な視点から、トラックが物流インフラに果たす役割に興味を持ちました。さらに、当社の主力製品であるアクスルやフレームは、数十年にわたってほとんど形が変わっていません。それにもかかわらず高いシェアを獲得していることも面白いと思ったのです。

入社後の研修で、さまざまな部署の先輩から話を聞くうちに、社内のさまざまな部門や社外の取引先と接点の多い調達部の仕事に魅力を感じて、配属を希望しました。

原価削減のためメーカーの工場を訪問

最初に配属された部署で担当したのは、鉄や樹脂、油など資材関連の調達業務です。2018年に部品調達課に異動して、バイヤーとしてフレーム本体部品や、それらを組み付ける製造に必要なネジやボルト、ナットといった部品を社外のメーカー（サプライヤー）に発注し、購入する業務を担当しています。

私の所属する部署の役割をひと言でいえば、良いものを安く調達することです。まず、必要な部品の図面をメーカーに出して見積をもらいます。プレス機が1回プレスすることにかかる単価や、作業に関わる人の人件費を秒単位で積算し、適正な価格を算出します。見積との整合性を確認しながら、さらに価格を低減する方策をメーカーと協力して検討するのが私たちの仕事です。たとえば、A、B、Cという3つの作業が

あって、BとCをまとめることができれば、その工程分を安くできる。計算上では1分の作業が2分かかるのは動線にムダがあるのかもしれないなど、細かいところまで詰めるために、メーカーの工場に行って現場の作業状況を確認することもあります。

目標は女性バイヤーのロールモデル

調達の仕事において大切なのは、メーカーとの信頼関係を築くことです。メーカーにとっては私たちがお客様になるので、立場の優位性におごることなく、謙虚さと誠実さを忘れないように心がけています。一方的な利益追求でなく、双方の利益を両立できるのが理想的な取引です。信頼を深めるためには、お互いに気持ちよい取引を積み重ねていくことが欠かせません。

バイヤーに向いているのは、自社と取引先の立場両方の視点から物事をとらえ、細かいところに目配りできる人だと思います。今は女性のバイヤーは私だけですが、男女の別なく力を発揮できる仕事なので、これから入社してくる女性にもチャレンジしてほしい。上司や先輩が教えてくれるので、文系出身でも大丈夫です。私自身も材料と部品の両方を経験した女性バイヤーとして、後進のロールモデルになりたいと思っています。

HOLIDAY
休日の過ごし方

大学で演劇に打ち込んでいたので、今でも先輩たちの小劇団で公演があるとチラシ作りなどのお手伝いをしています。もちろん観劇も大好きです。週末はきちんと休めるし有給もとれるので、数カ月先のチケットも安心して取れます。





経営学部経営学科卒
2014年入社

営業は、「人対人」。
自分を武器に顧客との信頼を築く。

2つの業界を担当した経験が財産に

尾道工場で建設機械の営業を経験後、現在は本社で自動車部品(フレーム)の営業活動に従事しています。取引先のトラックメーカーから情報を収集し、新規案件があれば社内各部門に展開して正確に伝えることが、営業の第一の役割になります。そして、社内でまとめたコストを自分が納得して取引先へ提示し、交渉を経て受注に至った時に、仕事の醍醐味を味わうことができます。建設機械と自動車という異なる業界との取引で培った視点や考え方は、営業として貴重な財産になっています。

製造工程を深く理解することが大切

当社の営業職は、製品ごとに製造工程を把握し理解を深めることが必要不可欠です。そのために私は工場の現場に行き、実際に自分の目で直接見て確認することに努めています。また、現在は後輩社員も増えて、営業活動に加えて指導を行う立場になりました。学生時代にアルバイトで予備校のチューターをしていた経験を活かして、丁寧に理路整然と教えることを心がけています。将来は営業とは逆の調達などを経験して広い視野を養い、再び営業としてその知識を役立てたいと考えています。

HOLIDAY
休日の過ごし方
フルマラソン出場を目指して、休日はランニングで汗を流しています。尾道工場に勤務していた時は、会社の同世代の人たちと飲みに行ったり、兵庫県の城崎温泉や大分県の方まで温泉めぐりに出かけていたのがいい思い出です。



商学部会計学科卒
2019年入社

社員の大切なお金に関わる仕事に、
注意深く取り組んでいます。

労務費関係と退職金関係を担当

私が所属しているのは、勤怠・給与・社会保険・税金・退職金など、社員に直接関係するお金の管理・処理を行う部署です。私は全社員の勤怠・給与処理結果の集計を行う労務費関係と、退職金関係として支払い手続きや社員への教育を担当しています。各工場の労務部署・経理部・原価管理課の各担当者ややり取りをする中で、ミスがないように細心の注意を払い、社内規則をしっかりと遵守して取り組んでいます。初めて経験することや新しい知識を得られることが多くあって、毎日が新鮮で充実しています。

全社的なシステム変更に関わり尽力

システム関係の部署と共に、全社的に給与明細や申請書類を電子化するプロジェクトに関わったのは、とてもいい経験になっています。従来のシステムを変更することに対して社内からさまざまな意見もありましたが、社員の皆さんの負担を減らすにはどうすればいいかを考え、変えることによるメリットや利便性をきちんと説明して納得していただけるように力を尽くしました。今後は、高校時代に取得した簿記の資格や大学で学んだ会計学の知識・スキルを活かし、会社に貢献していきたいと思っています。

HOLIDAY
休日の過ごし方
旅行や、好きなバンドのライブに行き行って過ごしています。また、自分でもバンドを組んでおり、スタジオやライブハウスでよく歌っています。ショッピングも趣味で、友達と都内や横浜へ出かけることもあります。



国際学部国際学科卒
2012年入社

海外事業の収支管理という責任ある仕事をこなしながら
女性総合職のロールモデルとして後輩を導く存在に。

技術とシェアの高さが魅力

大学で国際学を学んでいたのと、英語が得意だったことから、日本の製品を海外に広める仕事に就きたいと思って、製造業を中心に就活していました。自動車は日本を代表する製品なので、早くから業界研究に取り組んでいて、海外に生産拠点を持つメーカーを調べているときに会ったのがプレス工業です。フレームやアクスルといったトラックの構造に詳しくはありませんが、独自の技術を持っていて、製品の世界的なシェアが高いことに魅力を感じました。面接担当の方が、とても親身になって話を聞いてくださったことも、入社を決めたきっかけのひとつです。

入社して最初に配属された部署では、日本国内にある関連会社に対する収支管理サポート業務を行っていました。半年後に異動があり、入社前に希望した通りの海外海外関係会社を担当することになった時はうれしかったですね。

現地の問題解決をサポート

その後、組織の変更があり、現在所属する部署では、海外関係の収支管理業務を担当しています。毎月、海外の各社から上がってくる売上や経費のデータと、計画の差異について原因を突き止めたうえで、経営会議用の資料を作成するのが主な業務です。数字だけではわからないことも多いので、現地の担当者にヒアリングして確認しながら、データを精査します。地域ごとにお客様や製品を取り巻く環境が違うので、日本と同じ感覚では分析できません。異文化を意識しながら、多角的に情報を収集するように心がけています。機械が壊れて修理費がかかったとか、病気やケガで人手が足りずに臨時的従業員を雇ったなど、経費が増えた理由はさまざまです。ただ原因を解明するだけでなく、こちらで支援できることはないかを部のメンバーと話し合っ、改善策を現地の担当者に提案することもあります。この仕事をして

いて良かったと思うのは、私たちの提案が採用されて、問題の解決に役立ったことです。経営会議の資料づくりも、会社の戦略に関わる重要な仕事なので、責任の重さとやりがいを感じながら、ミスのないように注意しています。

海外に関わる仕事を続けたい

最近、職場に女性が少しずつ増えてきたので、会社の雰囲気華やかになってきたように思います。育休や産休の制度も充実しているので、もっと女性の働きやすさをPRしてほしいですね。私自身も、仕事も家庭も趣味も、全て妥協することなく両立していくことが目標です。会社も仕事も好きなので、出産後も働いて後輩の女性社員たちのロールモデルになればいいと考えています。

入社する前はトラックに興味のなかった私も、海外旅行中に当社製のアクスルを見かけるとうれしくなります。現地の工場に新しい設備が入ったり、新製品の生産が始まったりという話を聞くと、自分の目で見てみたいと思うようになりました。いつか、海外の拠点へ足を運んで、現場の空気を肌で感じてみたいと思います。

HOLIDAY
休日の過ごし方
週末の気分転換は、小さい頃から続けているバレエのレッスン。仕事と家庭と一緒に、これからはもっと趣味として楽しんでいます。結婚するまであまり自炊をしたことがなかったので、クックパッドを見ながら料理のレパートリーを増やしている最中です。

国内 / 海外拠点

● 本社 ● 事業所 ● 海外子会社



藤沢工場



本社・川崎工場



宇都宮工場



PRESS KOGYO SWEDEN AB工場



PK U.S.A., INC.



尾道工場



横浜事務所



埼玉工場



PT. PK MANUFACTURING INDONESIA



蘇州普美麗駁室有限公司



THAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.

● 企業概要

社名 プレス工業株式会社
 設立 1925年2月16日
 代表者 代表取締役社長 美野 哲司
 本社所在地 〒210-8512 神奈川県川崎市川崎区塩浜1丁目1番1号
 資本金 8,070百万円
 従業員数 1,832名 / 連結従業員数 6,026名(2021年3月1日現在)
 売上高 1,537億25百万円(2020年度・連結)

営業品目

- 自動車関連事業
 フレーム、アクスルハウジング、アクスルユニット、
 パネル、プレス用金型、自動溶接機器
- その他の自動車部品等
- 建設機械関連事業
 建設機械用キャビン、その他の建設機械用部品等
- その他
 建築関連部品、立体駐車装置等

● 専攻と職種

専攻	数学	物理学	天文・惑星科学	化学	生物学	材料工学	プロセス工学	応用物理学	機械工学	電気電子工学	航空・海洋工学	資源工学	エネルギー工学	情報学	神経・人間工学	環境・社会科学	土木工学	建築学	農学	医歯薬学	その他
技術開発(新工法・塗装・溶接)	●	●		●		●	●	●	●	●											●
解析・実験	●	●		●		●	●	●	●	●											●
製品設計	●	●		●		●	●	●	●	●											●
工機(設計・制御)				●		●	●	●	●	●											●
生産技術	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
システム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

プレス工業株式会社

本社：〒210-8512 神奈川県川崎市川崎区塩浜1丁目1番1号
 人事部：〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2003-1
 TEL：0466-89-3542(人事部直通)
 E-mail：jinji@presskogyo.co.jp



www.presskogyo.co.jp/